

令和2年度の技術交流会開く

福井県コンクリート診断士会 主催



コンクリートの診断事例発表会が19日行われ、会員によるコ

質疑応答し 使命感の共有図る 情報を深め

会員6人が診断事例を発表

福井県コンクリート診断士会（山川博樹会長）の毎年恒例となる、

福井市手寄のアオッサで。

発表者は6人。それ

ぞれ診断（仕事）を通じて、体得した知識や技術、実感などを率直に

話し、参加会員64人が耳を傾け、質疑応答と、意見交換もした。

最後に登壇した日本技術者（コンクリート診断士）としての、基本的な姿勢、日々の思いを語りかけた。年々

強まる社会的なニーズへむけ、診断士として一層力量を高め、構造物の生涯シナリオを描き当てる等、使命感を示し、共感を呼んだ。

冒頭、山川会長が挨拶。会員連携の重要性を交え強調した。

玉村 拓也氏 リバークル 人的要因による変状

改善提案→マニュアルや設計図通りではなく、少し配慮を加える。補修の意図（補修目的や性能）を明確に伝える。直接現場で作業を実施する技術者の把握が大切などと指摘。



玉村氏

山田 祥太郎氏 AC構造検査 超音波パルス反射法による測定事例

超音波厚さ測定の鋼骨橋梁・鋼製シェッド、パイルラフト橋脚、鋼鉄板など。アンカーボルト長さ測定の既設構造物、あと施工アンカー防護柵支柱の根入れ長測定を紹介し強調。



山田氏

川崎 敏明氏 帝国コンサルタント PC箱桁下床版のひび割れ調査・補修補強設計

橋梁概要や環境条件、調査（FEM解析）結果などを紹介。下床版の橋軸方向や、橋軸直角方向の補強設計。表面含浸工法の施工状況などを現場写真でも紹介し重要性をPR。



川崎氏

青木 吉弘氏 アオキ塗装 コンクリート構造物の補修施工に携わって

同社は創業46年で、土木構造物の補修補強、建築構造物の塗装・防水に着手。トンネル補修工事では、注入材料の選定や、繊維シート工の防湿孔設置、覆工コンクリートの結露などを紹介。



青木氏

谷口 晴紀氏 ホクコン コンクリート2次製品の泣きどころ （Crying Place）

非破壊検査で、なんでも分かるわけではない。絶対視はダメ。損傷の発生原因を把握・想定し、適切な調査と診断を行うことが大切と指摘。



谷口氏

濱岡 弘二氏 日本ピーエス プロフェッショナルとしての姿勢 ～コンクリート診断士として

点検・調査に少し手をかければ構造物を長くもたせることが可能。プロとは、相手の声を真摯に聞き、相手の言語で話し、定量的かつ主体的に、発展的な転用を図る者を指すと強調。



濱岡氏